

今後の授業と補講について

今学期、正規の時間に授業が行われるのは、7月6日、13日の2回です。20日は、本務校の業務の都合で休講となりますが、日程の都合から補講は起こりません。申し訳ありません。

レポートについて

この科目の評価は、レポートの成績に、レスポンスシートなどによる問題点の指摘などを踏まえたボーナス点を加味して評価します。出席点はありませんので、出席状況が芳ばしくないものであっても、レポートが優れていれば、単位が付与されることがあり得ますし、逆に、出席状況がよくても、レポートが貧弱であれば、単位が与えられないこともあり得ます。

以下に示す指示は、厳守してください。以下の指示に従わない場合、大幅に減点することや、レポート未提出として単位を付与しないことがあり得ます。

レポートは

- ・必須レポート
- ・選択レポート
- ・選択レポートに関する感想

から成っています。選択レポートは、課題A～Cのうち1題を選んでください。

レポートの表紙には、学生番号、氏名等とともに、選択レポート課題として選んだA～Cいずれかの記号を明記してください。

必須レポートの分量は概ね800字相当以上、選択レポートの分量は概ね3000字相当以上を期待しています。しかし、内容が充実していれば、これより少ない分量でも構いません。分量の上限は設けません。

さらに、選択レポート本体とは別に、選択レポートに関する感想を、概ね200字～400字程度にまとめてください。これは独立した課題です。

必須レポート、選択レポート、および、選択レポートに関する感想は、マイクロソフトWordの文書ファイル（.doc / .docx）で提出してください。A4判たて位置の白紙に印字した場合に読みやすくなるよう配慮されていることを前提に、一枚の用紙に印字する字数や、レイアウトは特に制限しません。

レポート本体と感想は、「必須レポート→選択レポート→選択レポートに関する感想」の順に一つの文書ファイルにまとめてCoursePowerから提出してください。ファイルの名称は、学生番号と氏名とします。例えば、学生番号（クラス番号ではありません）が「20310000」で氏名が「青山 学」であれば、

20310000青山学.doc （拡張子は.docxでもよい）
としてください。

レポートの提出は、7月27日正午を締め切りとします。

なお、万一の事故に備えて、レポートのデジタル・データを保存して、手元に控えておいてください。レポート提出後、万一事故があった場合や、成績発表後に成績照会が必要になる場合などには、レポートの再提出を求められることがあります。そのような場合、手元に控えが残っていないと救済措置を受けられない可能性が高いものと理解してください。

万一の際に直接迅速に連絡が取れるように、自分の連絡先となるメール・アドレスを事前に通告しておきたい場合は、レポートの末尾（選択レポートに関する感想のページの最後）に、連絡を希望するメール・アドレスを書いておいてください。これは、任意であり、義務ではありません。

なお、レポートとして提出された内容、特に授業に対する感想にあたる部分は、提出者の名前などを伏せて、山田が執筆する教育実践報告論文などで引用紹介する場合があります。あらかじめご了解ください。

必須レポート：概ね800字相当以上：

授業を受講し、印象に残った点について感想を述べてください。特に、授業をきっかけに自分で考えた内容や、授業に対して感じた疑問については、できるだけ具体的に述べること。

選択レポート：概ね3000字相当以上：

(A)

まず、東谷護・編(2003)『ポピュラー音楽へのまなざし』勁草書房 所収の論文のうち、第2章以降から1つの章を選び、その執筆者が発表している音楽に関する論文や著作のリスト（書誌を明記した文献表）を作成しなさい。この部分は字数に入りませんが、必ず選択レポートの最初に置いてください。

その上で、その執筆者による2つ以上の論文や本（『ポピュラー音楽へのまなざし』所収論文を含めてよい）を関連づけ、この授業の内容にも言及しながら、その執筆者の研究について自由に論題を設定して自分なりの議論を展開しなさい。単なる研究の紹介ではなく、自分の考えを盛り込むこと。

ただし、その執筆者による『ポピュラー音楽へのまなざし』所収論文から、効果的な引用を1カ所以上、必ず織り込んでください。

(B)

授業でとりあげた「ポピュラー音楽」の操作的な定義に照らして「ポピュラー音楽」にはあたらない音楽ジャンル（例えば「クラシック音楽」や「民謡」など）を一つ選び、大量複製技術の出現がそのジャンルにどのような影響を与えたのかを、具体的な事例を挙げながら、できるだけ多様な観点から論じてください。

当然ながら、必要に応じて授業中に講じた内容や、他の参考文献等を参照し、それらに言及しながら議論を展開することが期待されます。

(C)

ジャズの歴史に関する書籍を2冊以上読んで、それぞれを関連づけながら内容を紹介する書評を書いてください。ただし、取り上げる書籍は、スウィングからモダン・ジャズへの移行期についてまとまった記述があるもの1冊と、もっぱらモダン・ジャズ以降の時代だけを取り上げた書籍1冊とします。

レポートの最初に取り上げる書物の詳しい書誌を明記してください。

念のためですが、単なる読書感想文を求めているのではありません。書評ですから、内容の要約とともに、自分の立場から見た意見、論評を盛り込んでください。また、取り上げた2冊の本をどう関連づけていくのかという観点をはっきりわかるようにしてください。特に、対象としている範囲の違いが、モダン・ジャズについての記述に何らかの影響を与えていると考えられるか否かを意識してレポートを作成してください。

選択レポートに関する感想：概ね200字～400字程度：

課題A～Cの選択理由を説明した上で、レポートを書いた感想を述べてください。

以上、いずれのレポート・感想についても、引用・参照文献（ウェブページを含む）は書誌（URLなど）をきちんと記すこと。

引用範囲や出典を明示せずに他人の文章を切り貼りしてレポートに組み込むのは、盗用であり、剽窃行為です。このような行為が判明した場合は厳格な対応をとります。なお、この点については、**2003年度の音楽史Bのレポートについて述べた見解**をご参照ください。

<http://camp.ff.tku.ac.jp/YAMADA-KEN/Y-KEN/ex-files/notice03.html#03AA>

レポートに関する質問は、「青山学院 音楽史A」という標題のメールにして、できるだけ早めに yamada@tku.ac.jp まで送ってください。